

令和3年度 町長施政方針

幌加内町長 細川 雅弘



令和3年3月4日(木)に開会されました、第1回幌加内町議会定例会において、細川町長より施政方針が示されましたので、その要旨をご紹介します。

はじめに

令和3年第1回議会定例会の開催に当たり、新年度の町政執行の所信と予算編成方針を申し上げ、町議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

新型コロナウイルス感染が国内で発生し、北海道独自の緊急事態宣言から2月28日で一年を経過しましたが、いまだ収束が見えず、最大の効果が期待されるワクチン接種が国内において医療関係者を皮切りに、ようやく開始されたところであります。

この間、国や地方自治体を含め、未曾有の対策を講じ、財政負担はもちろん、経済活動にも大きな影を落としております。

このような中、政府は新年度予算を樹立し、税収が相当落ち込む見込みの中にあつて、地財計画において地方交付税は配分ペースで前年比5・1%の増となっておりませんが、令和3年度の交付から昨年実施した国勢調査人口が反映されるため、本町においては増額を見込めないものと推測しております。

予算概要

一般会計予算額は、45億5,471万8千円(前年対比2・4%の増)であり、特別会計を合わせた総予算額は、51億2,719万8千円(前年対比2・2%の増)となっております。

大きな要因としては、最終処分場に係る建設工事費関係で2億6千万円余りと、朱鞠内コミセンの改修事業費2億9千万円余りを計上したことによるものです。

予算編成にあたり、財源不足を補うため、財政調整基金をはじめとする基金の取り崩しを4億6千万円余りとしており、大変厳しい財政状況となりますが、町民の皆さんの安全・安心を確保しながら、本町の未来を見据えた前向きな施策にも取り組んでいく所存です。



総務課関係

■衆議院議員総選挙

今年には衆議院議員の任期満了の年であり、総選挙が執行されます。所定の予算と、令和3年度の選挙から本町の投票区・投票所の見直しを図るとともに、北部地区については期日前の移動投票等を実施していきます。詳しくは14・15ページをご覧ください。

■消防団関係

消防団員(概ね7名分)の自動車運転免許の取得補助を行います。



■防災関係

非常用備蓄品 発電機(2台)を購入します。また停電時でも避難所を使用可能にするために、発電機と施設をつなぐ、非常時切替開閉器の取り付け工事(母子里・添牛内・政和の各コミセン)を実施します。



※発電機はイメージです。

■総合行政システム費

備荒資金組合の対応となりませんが、マイナンバー関係の中間機器の購入及び今後のシステム強化に向けた機器の購入を予定しており、債務負担行為を新年度予算書に計上しております。

地域振興室関係

■幌加内町の活性化ビジョン

本町の将来を担う世代の意見を反映した「まちづくりビジョン」を策定するため、30〜40歳代を中心に、農林水産業、商工観光業、子育て世代、高齢者支援関係者、教育関係者、幌加内高校生、町職員などを構成員とし、民間企業アドバイザーを加えた、ワークショップを設置します。

将来の人口減少を見据えて、どのような町であれば、「魅力があるのか」「移住・定住しやすいのか」など、一年間ご議論をいただき、将来ビジョンを策定していきます。



※写真はイメージです。

■家賃助成制度(民間賃貸住宅)

現在、町内に9棟42戸の民間賃貸住宅が建設されており、民間賃貸住宅の家賃助成について、町民等からのご要望もあり、入居者に対する家賃助成制度を創設いたします。公営住宅並みの家賃負担で入居が可能となり、定住促進の一環として取り組んでいきます。



■ふるさと納税

昨年、インターネットサイト事業者を2社追加し、計4社で広告の強化を図ったことにより、令和元年度決算では、約2,200万円(1,458件)、2,259万1,200円(200件)の寄附



幌加内町ホームページ
「ふるさと納税サイト」

額が、1月末現在で倍増の4,500万円(3,311件)、4,509万円)を超えております。今後も町内各事業者のご協力をいただき、地域の魅力ある特産品をPRするとともに、更なる拡充を図り、全国から「幌加内町」を応援いただけるよう強化推進していきます。

■地域おこし協力隊

現在、観光振興で活動されている1名のほか、そばや地域資源(加工センター・ルオント・そば蒸留酒)の振興で3名、地域の魅力発信事業などで1名の合計4名を募集いたします。コロナ禍における社会情勢の変化に伴い都市部からの移住希望者が増えている傾向にありますので、募集強化を図ります。

住民課関係

■交通安全対策

自動車におけるペダル踏み間違い抑制装置等に対し、国でも65歳以上の高齢者の方に、「サポカー補助」を行っておりますが、予算がなくなり次第終了するとの内容から、後付け装置の購入費用の一部について、町独自で補助を行うことといたしました。

令和3年度に5件の予算計上を行い、高齢者における自動車事故の防止、安全運転に資したと考えております。



■冬期生活除雪支援事業

令和2年度で終了の事業ですが、引き続き、同様の補助内容で2年間の延長を行います。令和3年度は16件分の予算計上をいたしました。

■不良空き建築物等撤去促進事業

令和2年度で終了の補助事業ですが、引き続き、同様の補助内容で2年間の延長を行います。令和3年度は3件分の予算計上をいたしました。



■霊柩車の購入

平成10年に購入(走行距離は22,500km程度)の霊柩車ですが、購入から22年が経過し、老朽化が顕著であるとともに、現代の棺の種類・大きさによっては搬入室に納められない事象も発生しているため、この度、新たな車両を購入いたします。



■幌加内町一般廃棄物最終処分場建設事業

平成27年度より準備を進めてきました本事業は、平成31年度当初予算において令和3年度までの継続費として予算措置をいただいたところであります。

令和2年度は本工事として、令和元年度契約済の「浸出水処理整備工事（プラント整備）」の継続予算に加え、「埋立地造成工事」及び「浸出水処理施設建築工事」並びに、これらにかかる「施工管理業務委託」を継続事業として予算措置、契約を締結したところで、この度、令和3年度における事業執行の予算を計上しております。



■町営住宅

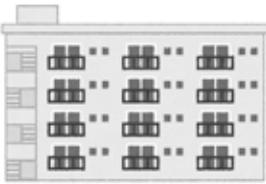
老朽化しております団地の解体について、法令により事前にアスベストの含有調査が必要となったことから、緑ヶ丘団地解体予定1棟2戸の調査を実施するほか、計画的に進めております町営住宅の屋根塗装工事を本

年度7棟14戸実施することとし、所要の予算を計上したところであります。

私の公約としております「山村留学」推進のため、朱鞠内地区における住宅環境の整備としまして、令和2年度に「民間賃貸住宅建設事業」の実施により教職員の住環境改善を含め、1棟4戸の住宅建設を図ったところであります。

引き続き、令和4年度の「山村留学」募集に際し、留学される世帯及び教職員の増加や地域のニーズに幅広く対応することを目的とし、朱鞠内地区にプロポーザル方式による1棟4戸の町有住宅を整備する予算を計上いたしました。

また、今後における町営住宅の整備としまして、令和3年度で計画が終了する「住生活基本計画」及び「幌加内町公営住宅等長寿命化計画」の次期計画の策定業務委託として、社会資本整備総合交付金を活用とする予算を計上いたしました。



■国民健康保険

令和3年度における課税限度額の引き上げは見送られ、据え置きと示されております。

軽減判定所得の算定については基礎控除額相当分の基準額を43万円に引き上げるとともに、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加えることとされたところであります。

■後期高齢者医療保険

限度額の引き上げは見送ることとされております。所得の少ない被保険者に対する保険料の均等割額の軽減判定に係る基準額について、被保険者のうち一定の給与所得者と公的年金等の支給を受ける者の数の合計数から1を減じた数に10万円を乗じて得た金額を加えるものとするところで、去る2月9日開催の北海道後期高齢者医療広域連合議会定例会において可決されたところであり、これにより、保険料の若干の増減が生ずることになると考えております。

保健福祉課関係

■子育て施策

安心して、子育てが出来る環境整備として、保育人材確保支援事業を引き続き実施し、人材の確保を図り、安定した保育現場の体制整備に保育事業者と協力していきます。

また、妊産婦交通費助成事業を同様継続し、出産に関する経済的負担の軽減を図るほか、不妊、不育に係る治療費の助成、新生児の聴覚検査にかかる費用の助成を継続し、子ども子育て施策の充実を図ります。



■第8期幌加内町高齢者福祉・介護保険事業計画

令和3年度から令和5年度までの本計画は、本町の高齢者の自立支援と要介護者状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、必要なサービスを提供することを目指します。

なお、介護保険料の基準額については、サービス事業量の推計を行い、準備基金の取り崩しを行いながら、急激な保険料増による被保険者の負担とならないよう、現行の4,700円から4,800円（約2・1%の増）とし、改正条例案を提案し、たく存じます。



■第6期幌加内町障害福祉計画

令和3年度から令和5年度までの3か年に係る、障がい児童の支援強化と地域における自立した生活の支援充実などを目的に障がい者福祉の充実に努めていきます。

■介護人材確保事業

引き続き介護サービス事業者と連携し、入職者のフォローアップ、また、全国で同様な事業を実施する自治体で構成する「ひとり親地方移住支援ネットワーク会議」にも参加し、合同相談会の開催など、移住定住者の確保に努めていきます。

また、東川町の旭川福祉専門学校での本格的な外国人留学生受け入れに伴い、令和元年度より外国人介護人材育成支援協議会に参加し、人材確保に努めてまいりました。

本年4月、本町の育成支援奨学金の給付を受けている2名の学生が、特別養護老人ホームテルケアに就職することになりました。

引き続き、令和2年度より、町の外国人介護人材育成支援奨学金を給付している1名の学生につきまして、奨学金を給付する予定であります。



■高齢者補聴器購入費助成事業

聴力機能の低下がある高齢者に対し、コミュニケーションの促進及び、閉じこもりの防止を図り、積極的な社会参加を促すことを目的として、令和3年度より補聴器の購入費に要する費用の一部を助成いたします。

対象者は、法律に基づく補聴器の支給対象とならない、本町に居住する満65歳以上の方で、助成金額は、購入費の2分の1以内、2万円を限度としております。



■保健事業

各種健診、予防接種、訪問事業等を例年通り実施するほか、コロナ対策として今後、本格的に始まる予定のワクチン接種に必要な経費を計上しております。



産業課関係

■第6次幌加内町農業振興計画

また、町の第7次総合振興計画との整合性を図り将来の本町の農業振興に向け、生産者はもとより地域住民、関係団体、行政が一体となって、少子高齢化・人口減少の影響を受け農業の担い手が減少している中、今後を見据え、スマート農業の導入、TPP11経済連携協定等の発効に伴うグローバル化、持続可能な開発目標(SDGs)へ向け、国内外の環境変化に対応した幌加内農業を目指し各施策の展開を進めていきます。

■土地改良事業

経営体育成事業の中部地区、担い手育成型事業の北部地区の負担金をそれぞれ計上しております。

また、朱鞠内湖畔地区、第1幌里地区について土地改良区、JAきたそらち幌加内支所と連携しながら事業採択に向け各関係機関への要請を行うなど鋭意努力いたします。

■農業振興奨励補助金

町単独事業である本補助金についても、農業振興計画をもとに事業の必要性、継続性、効果を検証しながら有効に活用していきます。

■商工関係

令和2年度よりそば振興係が産業課へ移管となり、観光事業と連携し、更に幌加内そばの情報発信、知名度アップを含め、そば振興に一層尽力する所存です。

コロナ禍で新しい生活様式が定着する中、SNSを活用したECサイトの充実、そばの里大使である「上杉周大」氏がユーザーを活用して幌加内そばの魅力を紹介していただきます。



YouTube ヘルリンク

また、一定の収束が見えた段階では、道内外への物販の促進を目指し、長引くコロナ禍の影響を受けている、飲食、宿泊業を中心とする事業者への経済対策については、令和3年度においても、「新北海道スタイル」を実践する店舗を利用対象として北海道が行う10%プレミアム部分への支援事業を活用し、30%プレミアム付商品券発行事業を実施します。



※商品券はイメージです。

■農業技術センター

輪作体系を組める作物研究のため、今年度は、薬用植物の芍薬、当帰、ハトムギの導入試験を実施していきます。



■観光関係

せいわ温泉ルオント及び、ふれあいの家・まどかの補修・改修を行い、コロナ禍をチャンスと捉え、多くの観光客に来ていただけるよう関係機関と一緒に進めていきます。



■林業関係（町有林）

将来の森林活用に向け、町の森林経営計画に基づき、ほろたちスキー場周辺町有林（町民の森）の皆伐のほか、昨年度に引き続き、旧幌加内高校跡、政和6線旧JRR防風林の下刈り等と、森林環境譲与税を活用し、私有林の人工林調査を実施していきます。



令和2年4月にリニューアル
せいわ温泉ルオント

建設課関係

■住宅関係

住環境の向上と定住の促進を図るため実施しております「幌加内町持ち家建設促進条例」に基づき、1件分の奨励金を予算計上しております。



■町道の整備

単独事業として西七条線側溝改修工事を実施いたします。補助事業にて平成30年度より実施しております下幌加内線道路改良工事につきましては、路盤改良、舗装工 延長517mの他、用地購入、支障物件の移転補償を実施し令和4年度の完成に向けて進めていきます。



■橋梁の修繕

平成25年度に策定しました橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁補修工事3橋と廃棄物処理試験方法の変更に伴う3橋分の補修設計委託業務を実施し適正な管理と維持補修を進めていきます。

また、この個別施設計画策定については5年毎に義務付けられている橋梁の法定点検が、平成28年度から平成30年度に1巡目が終了したことに伴い、現橋梁長寿命化計画の見直しが必要となり、新たな計画策定の業務委託を実施していきます。



■町道・河川の維持・管理

快適な生活環境の保全のため各自治区の要望を踏まえ、自治区と十分協議しながら実施していきます。

教育関係

■教育全般

教育環境を取り巻く社会変化に加え、今後も過疎化の進行が予想されますが、教育・文化活動が衰退しないよう、本年度も「幌加内町教育行政大綱」のもと、教育課題の共有や教育条件の整備等重点的に講ずべき施策について進めていきます。



■学校教育

新たに策定した「学校教育推進計画」のもと、ふるさとに誇りと愛着をもち、心豊かでたくましく生きる児童・生徒を育成するため、特色ある教育活動を展開してまいります。

小・中学校においては、令和2年度より準備を進めてきました朱鞠内小学校の山村留学の受付が本年4月より始まることとなりました。山村留学者の居住用住宅の整備や「朱鞠内小学校山村留学推進協議会」への補助金など、山村留学事業を進めるべく、所要の予算を計上しております。



写真：朱鞠内湖音頭

高等学校については、令和2年度から取り組んでいる「高校生地域留学推進のための高校魅力化支援事業」において、道外より4名の地域留學生を受け入れることが決定しております。



写真：オープンスクールの様子

また、ICT教育の充実や六次産業化への取組みなど、小規模校ならではのきめ細やかな指導や特色を活かした学校運営を実践するため、備品等の整備を行い、引き続き生徒募集の強化に向け、更なる魅力発信に努めていきます。

■社会教育

新たに策定した「社会教育中期計画」のもと、生涯教育の観点に立った社会教育の推進を図

り、明るく豊かな町づくりを進めるため、今後においても、生涯学習センターを本町の文化・学習活動の拠点として、学習機会の提供や学習環境の整備に取り組んでいきます。

スポーツ活動については、「町民皆スポーツ」を目標に誰もが身近にスポーツに親しむ事ができる生涯スポーツ社会の実現を目指し、地域のスポーツ環境整備を図り、各種スポーツ団体の活動や大会の支援に努めていきます。



このほか、教育行政の具体的な内容につきましては、教育長より教育行政執行方針でご説明申し上げます。

むすびに

以上、町政運営を進めるに当たっての、私の所信の一端と各分野の大綱を述べさせていただきましたが、冒頭に申し上げましたとおり、財政的にも大変厳しい中ではありますが、一つひとつ政策を積み重ね本町の振興発展に向け、全力投球で取り組んでいきます。

加えてコロナ対策につきましては、ワクチン効果が発揮され一日も早い日常生活が取り戻すことができるよう、本町においても国の臨時交付金を有効に活用し迅速な対応を図るため、臨時会、あるいは専決予算執行にて事業実施をする場合もあるかと存じます。

改めまして町民の皆様、町議会の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます、町政の執行方針とします。

社会教育施設については、「朱鞠内コミュニケーションセンター」につきまして、地元との協議が終了しましたので、改修工事を実施します。